| 教科 | 音楽 | 学年 | 第1学年 |

出二点	<b>吐米</b> 左	出二の列達日標(小出二のわこい)	単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数 	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 どんなうたがあるかな ~「かたつむり」 (7時間扱い・4~5月) ※「ひらいた ひらいた」 「かたつむり」は 共通教材	12	構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、範唱を聴いて歌う技能を身に付ける。 (2) 拍やその流れ、速度、旋律のもつリズム、強弱、変化を聴	の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 【知-②】「かたつむり」の曲想と拍やリズムなど音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。	の、拍やその流れ、速度や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだして聴いている。 【思-②】「かもつれっしゃ」の拍	【主-②】友達と一緒にわらべうたを歌ったり、うたに合わせて体を動かしたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

(6時間扱い・6~7月)	など音楽の構造との関わりや、 身の回りのいろいろな音の特 徴について気付くとともに、互 いの声や音、伴奏を聴き、拍に 合わせてリズム表現する技能 や、発想を生かした表現をする ために必要な、設定した条件に 基づいて、即興的に音を選んだ りつなげたりして表現する技能	音楽の構造との関わりや,身の回りのいろいろな音の特徴について気付いている。 互いの声や音,伴奏を聴き,拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能や,発想を生かした表現をするために必要な,設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付けている。	きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムづくりを通して	4分音符や4分休符,8分音符から成るリズムやその表現に興味をもち,音楽活動を楽しみながら,主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
--------------	--	--	--	--

おとの スケッチ〉 ことばの リズムで あそぼう (2時間扱い・7月)	2	音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりする。 (2) 言葉のリズムや楽器の音を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこと	わりや、楽器の音の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 【技-①】発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて	の音を聴き取り、それらの働き	【主-①】言葉とリズムとの関わりの面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
くにっぽんのうた			わ地など辛楽の構造との思わ	【思-①】「うみ」の拍やその流れ, 旋律を聴き取り, それらの	【主-①】「うみ」の歌詞の、情景や 気持ちを歌で表すことに興味をも
みんなのうた>		音に気を付けて歌う技能を身に付ける。(2) 拍やその流れ、旋律を聴き取り、それら	り,曲想と歌詞の表す情景や気		ち, 音楽活動を楽しみながら, 主体 的・協働的に学習活動に取り組ん
「うみ」(共通教材)	3	の働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 情景や気持ちを歌で表すことに興味をも	る。 【技一①】「うみ」を、自分の歌声	取ったこととの関わりについて	でいる。
(2時間扱い・7月)		ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		

どれみと なかよし	(1) 曲想と音階など音楽の構造   〇曲想と音階など音楽の構造   〇旋律やその変化, 音階を聴   〇階名と音高との関わ との関わりに気付くとともに, 階   との関わりに気付いている。   き取り, それらの働きが生み出   ち, 音楽活動を楽しみな 名で模唱したり暗唱したりする   〇階名で模唱したり暗唱したり   すよさを感じ取りながら, 聴き   的・協働的に学習活動 技能や, 音高を体などで表現す   する技能や, 音高を体などで表   取ったことと感じ取ったこととの   でいる。	ながら、主体
(4時間扱い・9月)	る技能を身に付ける。 (2) 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 階名と音高との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、階名に親しむ。	

くこんにちは	(1)鍵盤ハーモニカの音色と演  【知-①】鍵盤ハーモニカの音  【思-①】「まほうのど」の旋  【主-①】鍵盤ハーモニカによる表
	奏の仕方との関わりに気付くと  色と演奏の仕方との関わりに  律, 伴奏の速度やリズムを聴き 現に関心を持ち, 音楽活動を楽し
けんばんハーモニカ>	ともに、鍵盤ハーモニカの扱い  気付いている。   取り、それらの働きが生み出す  みながら、主体的・協働的に学習活
	方や鍵盤の位置, 息のつかい   【技-①】「ど」の鍵盤の位置,   よさを感じ取りながら, 聴き取っ   動に取り組んでいる。
	方など基礎的な演奏技能や,リ  息のつかい方など基礎的な演   たことと感じ取ったこととの関わ
(2時間+毎時	ズム譜などを見て演奏する技   奏技能を身に付けている。   りについて考え,曲に合った表    能を身に付ける。
(2時间干費時	版を対に対ける。   (2) 旋律, 伴奏の速度やリズム   【技-②】 鍵盤ハーモニカの扱   るかについて思いをもってい
9~10月)	を聴き取り、それらの働きが生  い方や「どれみふぁそ」の鍵盤   る。
	み出すよさを感じ取りながら、「の位置、息のつかい方など基」
	聴き取ったことと感じ取ったことは一礎的な演奏技能や、リズム譜な
	との関わりについて考え、曲に「どを見て演奏する技能を身に
	6   合った表現を工夫し、どのよう   付けている。
	に演奏するかについて思いをも
	(3) 鍵盤ハーモニカによる表現
	に関心を持ち、音楽活動を楽し
	みながら, 主体的・協働的に学
	習活動に取り組み,鍵盤楽器

もりあがりを かんじて	(1) 曲想と旋律など音楽の構造   曲想と旋律など音楽の構造と   旋律の流れや音階を聴き取り、   歌詞の表す情景を想像することや、   との関わり、曲想と歌詞の表す   の関わり、曲想と歌詞の表す情   その働きが生み出すよさを感じ   旋律の特徴を捉えることに興味をも   情景や気持ちとの関わりに気   景や気持ちとの関わりに気付   取りながら、聴き取ったことと感   ち、音楽活動を楽しみながら、主体
(2時間扱い・10月)	付くとともに、階名で模唱したりは

いい おと みつけて (7時間扱い・11~12月)	(1) いろいろな音の響きの特徴 いろいろな音の響きの特徴や、 音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さななどと関わらせて気付くととも に、発想を生かした表現をする ために必要な、設定した条件に 基づいて即興的に音を選んだ いて即興的に音を選んだ いて即興的に音を選んだ いて即興的に音を選んだ いて即興的に音を選んだ いて即興的に音を選んだ いて即興的に音を選んだりつな 想を得たり、どのように音を音りつなげたりする技能や、音楽の仕組 楽にしていくかについて思いを 自分や友達の出す音に興味をも き取り、それらの働きが生み出 ち、音楽活動を楽しみながら、主体 はよさや面白さを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取った こととの関わりについて考え、 音遊びを通して音楽づくりの発 想を得たり、どのように音を音 けたりする技能や、音楽の仕組 楽にしていくかについて思いを
8	の仕組みを用いて簡単な音楽 をつくる技能を身に付ける。 (2) 楽器の音や呼びかけ合いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 自分や友達の出す音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な楽器の音に親しむ。

〈おとの スケッチ〉	┃
	変化による表現の特徴につい し方の変化による表現の特徴 な声の出し方を聴き取り、それ 味をもち、音楽活動を楽しみなが
ねこの なきごえで	て、それらが生み出す面白さな「について、それらが生み出す面」らの働きが生み出すよさや面 ら、主体的・協働的に学習活動に関
	どと関わらせて気付くとともに、 白さなどと関わらせて気付いて 白さを感じ取りながら, 聴き取っり組んでいる。
あそぼう	設定した条件に基づいて即興しいる。 たことと感じ取ったこととの関わ
	的に声を選んだりつなげたりし  【技-①】 設定した条件に基づ   りについて考え, 声による音遊
	て表現する技能や、音楽の仕 いて即興的に声を選んだりつな びを通して音楽づくりの発想を
	組みを用いて簡単な音楽をつく「げたりして表現する技能や、音」得たり、どのように音を音楽に
(3時間扱い・12月)	┃
	(2) 音高や強弱など多様な声の  楽をつくる技能を身に付けてい  たりしている。
	出し方を聴き取り、それらの働  る。
	きが生み出すよさや面白さを感
	じ取りながら、聴き取ったことと
	感じ取ったこととの関わりにつ
	いて考え, 声による音遊びを通
	して音楽づくりの発想を得たり、
	どのように音を音楽にしていく
	かについて思いをもったりす
	්රි.
	(3) 声による多様な表現に興味
	をもち、音楽活動を楽しみなが
	に取り組み, 即興的な表現に
	┃  ┃親しむ。

きょくの ながれ (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、鳴き声の合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働き 造との関わりに気付いている。 (2) 楽器の音色や旋律の反復・変化等を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器の音色、旋律の反復と変化、舶やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、音楽が表している情景を想像することに興味をもち、音楽活動を変化、拍やその流れなどから、音楽が表している情景を想像することとの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。
---------------------	--

<めざせ がっきめいじん> 「すずめが ちゅん」 (毎時扱い)	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりりで、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、範奏を聴いたり、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現をエ夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) 楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	合ったりする 主体的・協働
うたで まねっこ (4時間扱い・1~2月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付くともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム表現したりする技能を身に付ける。 (2) 歌声を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについてきるとと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 交互唱の面白さや友達との表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、交互唱に親しむ。	カを楽しみなが┃

みんなで あわせて (3時間扱い・2~3月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造と	すること 楽しみな
------------------------	--------------------	--------------

〈おとの スケッチ〉	(1)旋律の特徴について,それ 【知−①】つくった旋律の特徴に【思−①】 旋律を聴き取り,そ 【主−①】 短い旋律をつくることに興
	が生み出す面白さなどと関わら ついて,それが生み出す面白さ の働きが生み出すよさを感じ取 味をもち,音楽活動を楽しみなが_
ほしの おんがくを	せて気付くとともに、発想を生  などと関わらせて気付いてい  りながら、聴き取ったことと感じ  ら、主体的・協働的に学習活動に取
-/7 =	かした表現をするために必要   る。
つくろう	な,設定された条件に基づい   【技−①】 発想を生かした表現   考え,どのように音を音楽にし   て,即興的に音を選んだり,で   をするために必要な,設定され   ていくかについて思いをもって
	ねたりして簡単な音楽をつくる   音を選んだり、できた旋律を友
(4時間扱い・3月)	技能を身に付ける。 達とつなげたり重ねたりして簡
	(2) 旋律を聴き取り、その働き 単な音楽をつくる技能を身に付
	が生み出すよさを感じ取りなが  けている。
	5   (3) 短い旋律をつくったり, それ
	°  をつなげたり重ねたりすること
	こ
	習活動に取り組み、旋律づくり
	ら, 聴き取ったことと感じ取った
	こととの関わりについて考え,
	どのように音を音楽にしていく
	かについて思いをもつ。
ı	